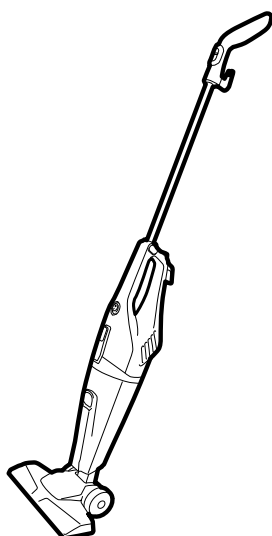


siroca

スティッククリーナー

SV-SC151



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部のなまえ	4
用途に合わせて組み立てる	5
使いかた	6
お手入れ	8
故障かなと思ったら	9
仕様	10
部品・消耗品	10
保証とアフターサービス	11
保証書	12

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



禁止

本体のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない
本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。



禁止

以下の場所では使わない
火気の近く、水しぶきのかかるところ、高温多湿になる
ところ、油や油煙が発生するところ、引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナーなど)の近く など
感電・ショート・火災・爆発の原因になります。また、事故・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や電源コードを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電・故障の原因になります。



包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に保管する
誤って顔にかぶったり、首に巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードやプラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部やプラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かさずと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

本体・スティック・フロアブラシ・フィルターは水洗いしない(ダストカップ・フィルターケースなど、水洗いできる部品は除く)
故障・感電の原因になります。



禁止

水や、シンナー、ガソリン、灯油、タバコ、マッチなどの引火性・火気のあるもの、カミソリの刃、画紙、針、ガラスの破片などの危険物を吸い込ませない
火災・引火・けが・故障の原因になります。

電源コード・電源プラグについて



接触禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを破損するようなことはしない
電源コードやプラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは定期的に拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

注意



吸込口をふさいだ状態で長時間継続運転させない
過熱・発火・故障の原因になります。

禁止



本製品を屋外で使わない
本製品は屋内用です。屋外でお使いになると故障・破損・けがの原因になります。

禁止



多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類を吸わせない
発熱・発火・故障の原因になります。

禁止



本製品を落としたり、叩いたり、上に乗ったりなどして乱暴に扱わない
故障・破損・けがの原因になります。

禁止



排気口をふさがない
発熱・発火・故障の原因になります。

禁止



フロアブラシや隙間ノズルを、床や壁、家具などに強く押しつけない
故障・破損の原因になります。

禁止



本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。

禁止



フィルターなどの付属品は本製品専用の物を取りつける
異なる付属品を取りつけると、発熱・発火・故障の原因になります。



ダストカップ内のゴミは、こまめに捨てる
ゴミをためたまま使用を継続すると、発熱・発火・故障の原因になります。



ダストカップ、フィルター類は、本書に記載されている方法でこまめにお手入れする
お手入れをおこたると故障の原因になります。



持ち上げるときは、必ずハンドルを持つ
その他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下し、故障の原因になります。



ダストカップ、フィルター類は必ず取りつける。また、適切に取りつけた状態で運転する
取りつけずに使用したり、誤った取りつけをすると、発熱・故障の原因になります。



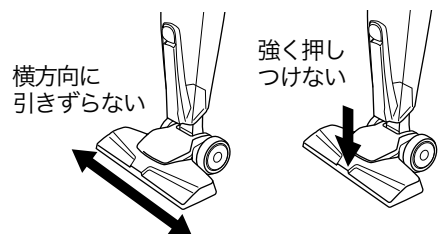
炎天下の車内や暖房器具のそばなど、高温になるところで保管しない
本体の変形・故障・やけど・発火の原因になります。

使用上のお願い

- 本製品は家庭用掃除機です。業務用やお掃除以外の用途では使用しないでください。
- 次のものは吸わせないでください。吸込力の低下や故障の原因になります。
 - 水などの液体や、湿ったもの
 - ガラスの破片・ピン・刃物など鋭利なもの
 - 多量の砂や小石、粉など目詰まりするもの
 - ビニール袋や食品用ラップなど通気性の悪いもの
- ダストカップのゴミは、こまめに捨ててください。ダストカップにゴミをためたまま使用しつづけると、吸引力の低下や故障の原因になります。
- ダストカップ、フィルター・フィルターケース、スポンジフィルター、フロアブラシはこまめにお手入れしてください。また、適切に取りつけた状態で使用してください。
- スティッククリーナーとして立てかける際は、お部屋の隅や壁際などの、平らで安定した場所に立てかけてください。本製品が倒れると、けがや故障、家具・家屋を傷つける原因になります。

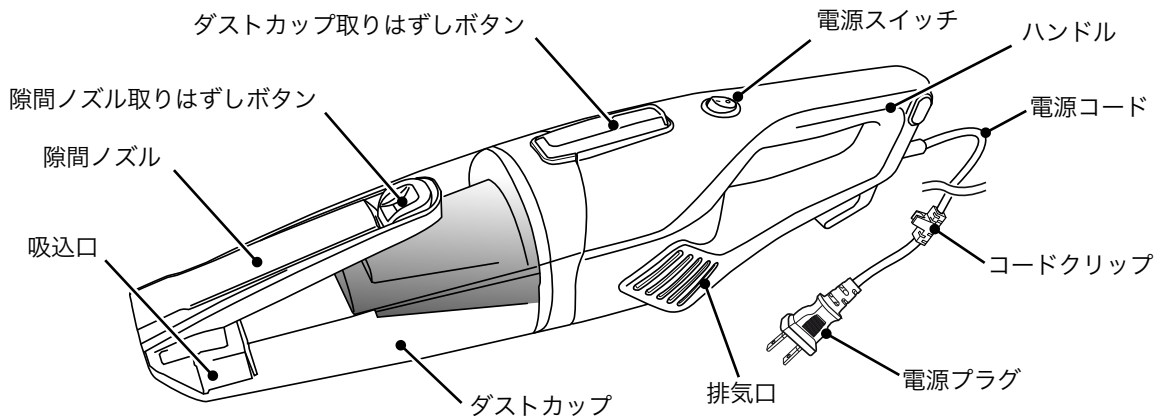
ご注意

- 次のような使いかたはしないでください。床面や壁・家具などが傷つく原因になります。
 - フロアブラシを横方向に引きずる
 - 隙間ノズル、フロアブラシを強く押しつける
 - 本体をぶつかけたり、落下させる
- 床面の傷つきを防ぐため、フロアブラシはフローリングや畳の目にそって、ゆっくり動かしてください。

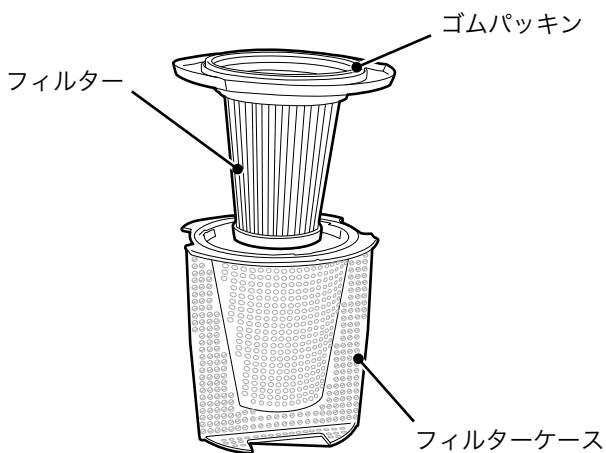


各部のなまえ

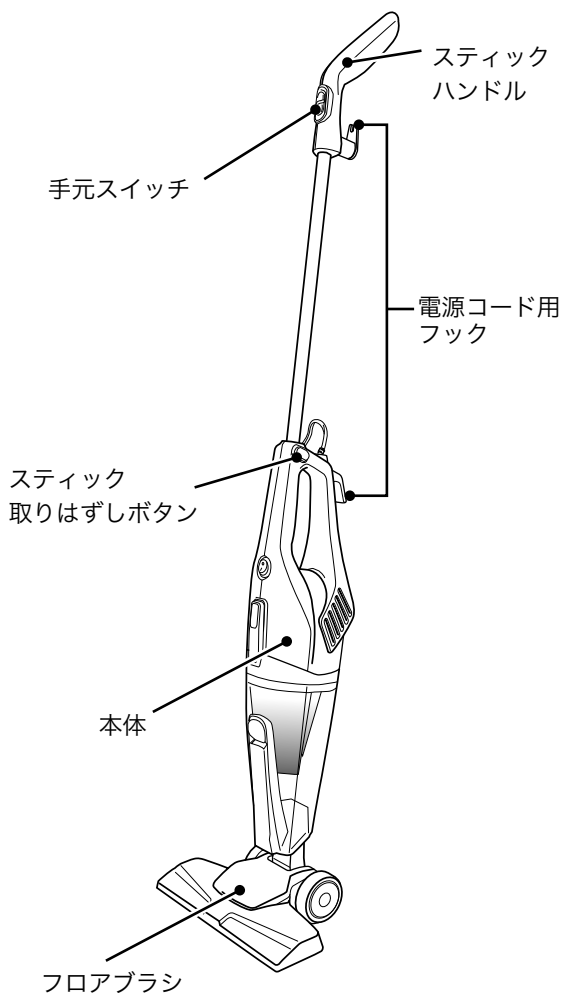
本体



ダストカップ内

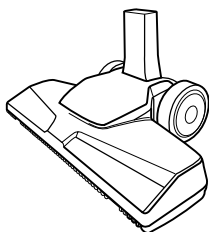


スティック・フロアブラシ装着時



付属品

フロアブラシ



スティック



用途に合わせて組み立てる

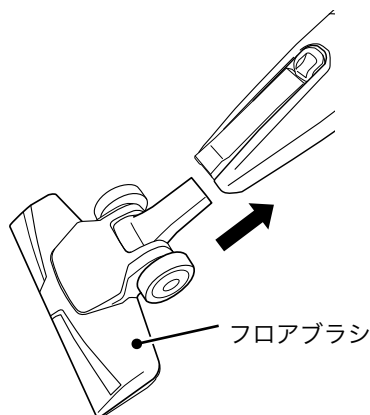
フロアブラシのつけはずし

フロアブラシを本体に取りつけるときは、奥までしっかり差し込みます。

フロアブラシをはずすときは、フロアブラシをしっかりと押さえて、本体のハンドルを持って引き抜いてください。

ご注意

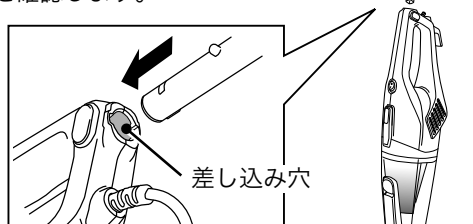
- フロアブラシを無理な力で差し込まないでください。吸込口が割れる恐れがあります。
- フロアブラシをはずす際は、スティックを本体から取りはずした状態で行ってください。スティックが周囲にぶつかり、事故やけがの原因となります。



スティックのつけはずし

スティックをつける

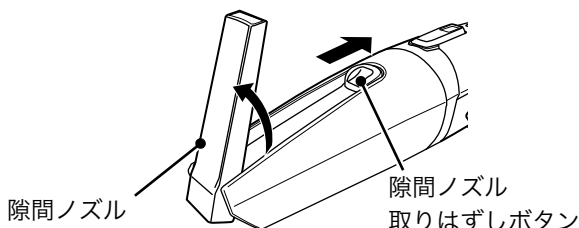
- ①電源プラグをコンセントから抜き、スティックの手元スイッチは○側にします。
- ②スティックは図の向きで、本体の穴に差し込みます。
- ③カチッとなるまで、スティックを押し込みます。
- ④スティックを引っ張り、抜けないことを確認します。



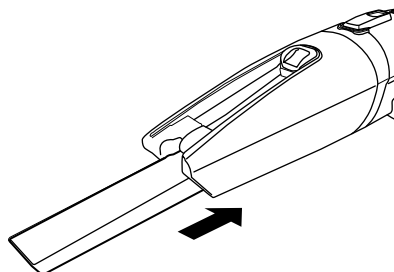
隙間ノズルのつけはずし

隙間ノズルをつける

- ①取りはずしボタンをスライドさせて、隙間ノズルを起こします。
隙間ノズルが起こせない場合は、隙間ノズルを吸込口側にわずかにずらしてから起こしてください。



- ②吸込口に押し込んで、隙間ノズルを固定します。

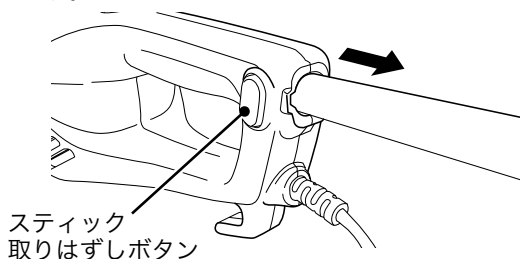


隙間ノズルを収納する

- ①隙間ノズルを引っ張り、吸込口から引き出します。
- ②隙間ノズルを倒して、カチッとなるまで押してダストカップに収納します。

スティックをはずす

取りはずしボタンを押しながら、スティックを引き抜きます。



ご注意

- スティックを引き抜く際は、本体やスティックが周囲の人や物などにぶつからないように注意してください。

| 使いかた

ハンディクリーナーとして使う

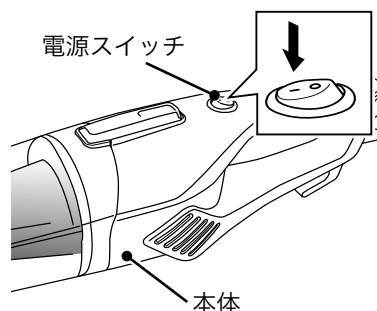
1 電源スイッチが○側(電源オフ)になっていることを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む
電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

3 電源スイッチをI側に押して、電源を入れる

ご注意

- 電源を入れると吸引が始まります。ハンドルをしっかり持ってから電源を入れてください。



4 使い終わったら、電源スイッチを○側に押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

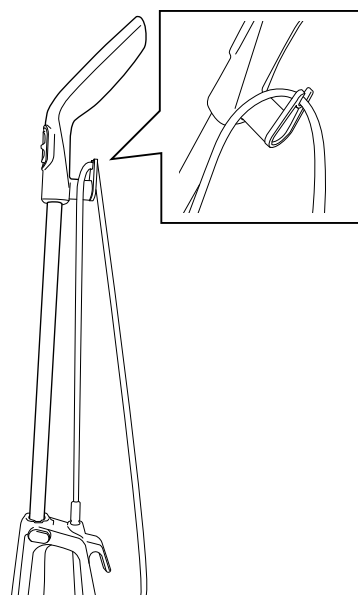
スティッククリーナーとして使う

1 本体の電源スイッチと、スティックの手元スイッチが両方とも○側(電源オフ)になっていることを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む
電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

3 スティッククリーナーとして使う場合は、電源コードをスティックハンドルに引っ掛ける

- 電源コード用フックの穴に電源コードを通します。
掃除中に、電源コードが足元でからみつくのを防ぎます。

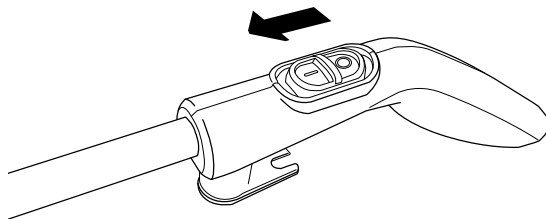


4 手元スイッチをI側にスライドさせて、電源を入れる

本体の電源スイッチでも操作できます。

ご注意

- 本体の電源スイッチをI側にすると、手元スイッチでは電源の入/切ができませんのでご注意ください。
- 電源を入れると吸引が始まります。ハンドルをしっかり持ってから電源を入れてください。



5 使い終わったら、手元スイッチを○側にスライドさせて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ご注意

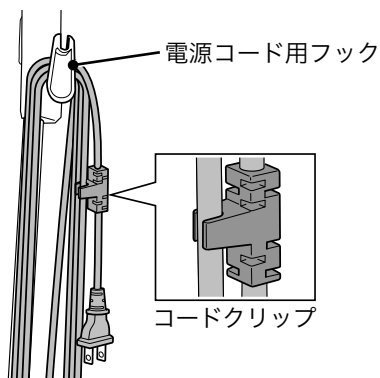
- 本体の電源スイッチをI側(電源オン)にしていると、手元スイッチでは電源が切れません。
- ハンドルの手元スイッチをI側(電源オン)にしていると、本体の電源スイッチでは電源が切れません。

6 電源コード用フックに電源コードを巻き付けて、電源コードを収納する スティッククリーナーの場合は、立てかけることができます。

ご注意

- 必ずスティックハンドル側から、コードを巻きはじめてください。本体側から巻くと電源コードに無理な力がかかって、電源コードを傷める恐れがあります。
- 収納する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お部屋の隅や壁際などの、平らで安定した場所に立てかけてください。本製品が倒れると、けがや故障、家具・家屋を傷つける原因になります。

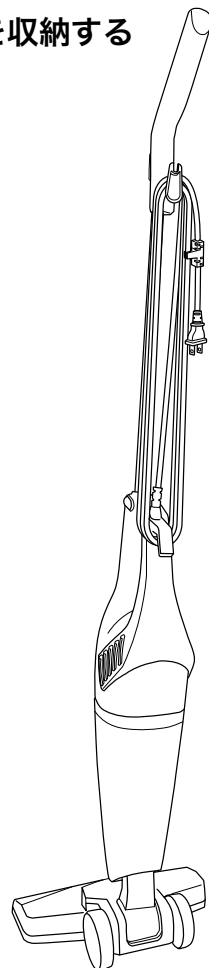
スティッククリーナーとして収納する場合は、下図のようにコードクリップを使用して、電源コードを固定することができます。



電源コード用フックに電源コードを巻きつけた後、コードクリップで電源コードを固定してください。

ご注意

- 電源コードやプラグを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



お手入れ

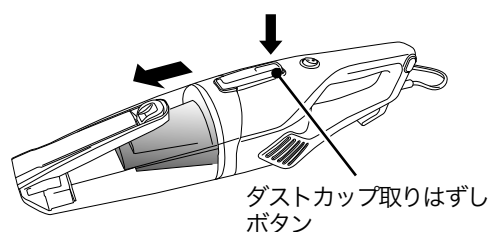
ご注意

- 安全のために、お手入れの際は、必ず電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ダストカップ、フィルター類はお使いになることにお手入れしてください。汚れたままお使いになると、吸引力の低下や本体の故障の原因になります。
- 本体、スティック、フロアブラシ、フィルターは絶対に水洗いしないでください。感電・故障の原因になります。
- お手入れの際にシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使わないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。

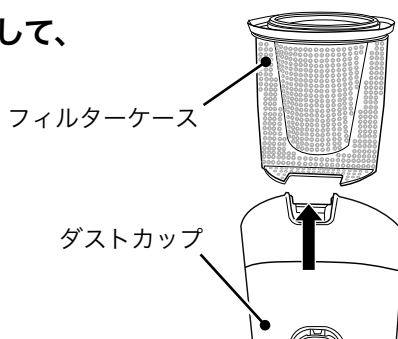
ゴミの捨てかた・フィルター類のお手入れ

1 本体からダストカップを取りはずす

取りはずしボタンを押しながら取りはずします。

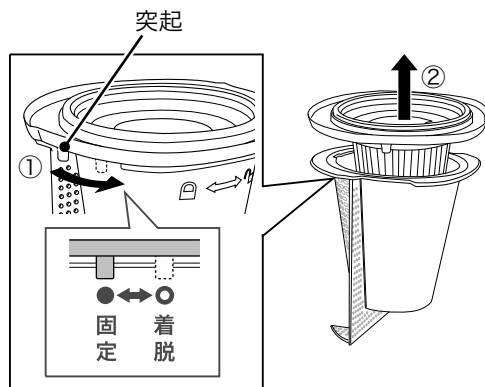


2 ダストカップからフィルターケースを取りはずして、ダストカップのゴミを捨てる



3 フィルターケースからフィルターを取りはずして、ゴミを取り除く

- ① フィルターの突起が、フィルターケースの○マークの位置にくるまで、フィルターを反時計回りに回します。
- ② フィルターケースからフィルターを引き抜いて取りはずします。
- ③ フィルターについたゴミを、軽くたたいて落とします。細かいゴミは、歯ブラシなどでこすって落としてください。フィルターのゴムパッキンにゴミが付着している場合は、取りのぞいてください。



フィルターの交換について

フィルターが目詰まりしたり、摩耗したり、穴が開いた場合には交換が必要です。お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

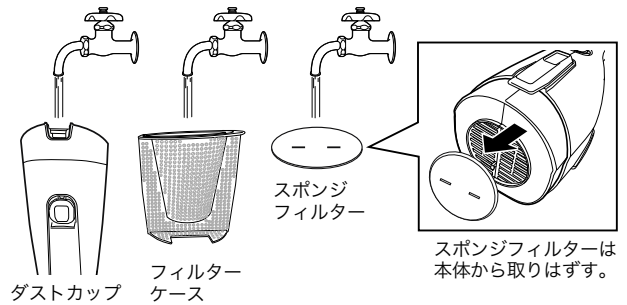
<https://siroca.jp/>



5 ダストカップ、フィルターケース、スポンジフィルターを水洗いする

ご注意

- 35℃以上のお湯で洗わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。
- 洗剤、漂白剤を使って洗わないでください。
- 洗い終わった後はよく乾燥させてご使用ください。乾燥が不十分な状態で使用すると、においの発生や故障の原因になります。
- フィルターは水洗いしないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。



6 お手入れが終わったら、部品を本体に取りつける

取りはずしとは逆の手順で取りつけてください。

本体・フロアブラシ・スティックのお手入れ

- 汚れていたら、布に水、または薄めた中性洗剤を含ませ、十分にしぼってから拭いてください。
- フロアブラシの吸込口周辺に付いたゴミや異物は、市販のブラシなどを使って取り除いてください。

| 故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 運転しない

電源プラグが抜けていませんか。
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでから、電源ボタンを押してください。

Q2 吸込力が弱い 運転音が大きくなった

- フロアブラシ、隙間ノズルに何かが付まっていますか。フロアブラシ、隙間ノズルの中を点検し、詰まったものを取り除いてください。
- ダストカップに多量のゴミがたまっていますか。ダストカップのゴミを捨ててください。
- フィルターやフィルターケースにゴミやほこりがたまっていますか。お手入れをしてください。
- フィルターのゴムパッキンは取り付けられていますか。ゴムパッキンを取りつけてください。また、ゴムパッキンにゴミが付着している場合は、取りのぞいてください。

Q3 電源が切れない

本体の電源スイッチ、または、スティックの手元スイッチが1側になっていませんか。
本体の電源スイッチ、スティックの手元スイッチの両方も○側にしてください。

Q4 運転が途中で停止する

- モーターが熱を持っていませんか。モーターの温度が高くなると、サーモスタットが働いて、運転が自動で停止する仕組みになっています。電源プラグをコンセントから抜き、30分ほど本体を冷ましてから再度運転してください。
- ダストカップ、フィルターケース、フィルターにゴミが詰まった状態ではないですか。ダストカップ、フィルターケース、フィルターのゴミを取り除いてください。

| 仕様

品名(型番)	スティッククリーナー (SV-SC151)
サイズ(約)	スティック・フロアブラシ装着時：幅25.1 cm ×奥行15.0 cm ×高さ111.5cm 本体：幅11.3 cm ×奥行48.4 cm ×高さ11.3 cm
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	600 W
吸込仕事率	100 W
集じん容量	0.5 L
質量(約)	1.8 kg (フロアブラシ、スティックを含む)
運転音(約)	73 dB
電源コードの長さ(約)	5 m
付属品	フロアブラシ、スティック
生産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。
詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

(「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます)

部品名	部品コード
フィルター (※)	SV-SC151-FT
スポンジフィルター (※)	AV-S101-SF
フロアブラシ(※)	AV-S101-FB

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。

その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：スティッククリーナー
型番：SV-SC151
保証期間：お買い上げ日より本体1年間
お買い上げ日： 年 月 日
製造番号：
販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090023

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。

<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入についてはこちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：平日 **10:00～17:00**

土日祝 **10:00～12:00 / 13:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。